



〒513-0031 鈴鹿市一ノ宮町597番地  
 電話(059)381-5044  
 FAX(059)381-5344  
<http://suzukaze.or.jp>  
 2024.04.01  
 NO.222  
 担当:萱橋・伊藤

## ～新年度ご挨拶～

桜花の候、利用者・保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

今年度は6年ぶりに福祉・介護・医療の制度が同時に改変された初年度にあたります。どの分野も非常に厳しい改正の中での船出となりました。とりわけ共同生活援助（障害者グループホーム）では、一人暮らしなどの実現に向けた取り組みの評価、支援の実態に合わせた評価の見直し、支援の質向上に向けた取り組みなどの方向性から大きな改定が行われました。

今まで障害者グループホームは利用者の親亡き後の終の棲家としての役割を期待されていましたが、今改正では地域の中で一人暮らしをすることがノーマルな生活であるとして、グループホームの職員数を減らして、利用者退所後の支援を評価する仕組みが導入されました。当施設は終の棲家としての機能が利用者・保護者皆様の願いであると受け止めていることから、従前のおりの運営を行ってまいります。支援計画作成時やモニタリングの中で利用者・保護者の方々の意思を常に確認させていただくことになります。障害者グループホームの制度は、知的発達障がい者のみの制度ではなく、身体障がいや精神障がい等の方々も対象としていることから今回のような改正になった模様です。

生活介護事業についても種々の改正が予定されています。当施設も制度改正の一つとして、また人口減少への対応として定員を40名から30名にすることとしました。定員が30名の場合でも37名まで利用することは問題なくできますので、現時点と変わらず利用に影響が出ることはありません。それ以上の利用希望者がある場合は再び定員を上昇させていただきます。

厚生労働省の政省令が発出されていないことから詳しく申し上げることはできませんが、職員の質的拡充に一層力が入られるものとなるようです。幸い当施設は担当職員すべてが福祉の国家資格を保有していることから、すでに高い評価を受けておりますが、今後も職員研修に力を入れながら利用者支援に対してエビデンスのある実践が実施できるよう努めていく所存です。

今後は、施設としては利用者の高齢化に伴う対応も準備していかなくてはなりません。利用者・保護者様には何かとご支援ご協力をお願いさせていただくと思っておりますが、今年度も障がい者福祉の増進のためによりしくお願い致します。

2024年4月1日

すずかぜ施設長 杉本立己

## ～余暇③を行いました～

3月1日（金）に余暇③がありました。今回は、『UFOをやっつけろ』、『トラッシュシュート』というゲームをしました。

『UFOをやっつけろ』では、UFOの的を目掛けてボールを投げて、点数を稼ぐのにチームで応援しあってみんなでUFOをやっつけました。

『トラッシュシュート』では、大きさの違う入れ物に点数が書かれており、みなさん高得点を狙って頑張っていました。

皆さんの笑顔がたくさん見れて、楽しい時間となりました。



## ～避難訓練を行いました～

3月13日（水）に避難訓練がありました。休憩時間に地震が発生し、厨房から出火という想定で行いました。休憩時間ということもあり、どこに誰がいるかわからないという状況で、近くの職員の指示を聞いて避難しなければなりませんでしたが、2分以内に全員が避難する事が出来ました。今回、避難時の約束として「**おかしもち**」が大切である事を説明しました。

「押さない」「駆けない」「喋らない」「戻らない」「近よらない」  
 もしもの時には「おかしもち」で命を守りましょう。